



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社ニッスイ 上場取引所 東  
コード番号 1332 URL <https://www.nissui.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 浜田 晋吾  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画IR部長 (氏名) 広井 洋一郎 (TEL) 03-6206-7037  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	663,337	6.1	24,840	△5.7	27,907	0.5	19,578	△3.5
2024年3月期第3四半期	625,481	8.2	26,355	12.8	27,780	7.0	20,293	9.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 22,237百万円(△39.8%) 2024年3月期第3四半期 36,922百万円(4.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	62.99	—
2024年3月期第3四半期	65.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	635,733	270,709	41.2
2024年3月期	606,384	257,304	41.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 261,752百万円 2024年3月期 249,193百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
2025年3月期	—	12.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	16.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

(注)表示は、対前期増減率									
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	880,000	5.8	32,500	9.6	35,000	9.5	24,000	0.6	77.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 一社 (社名) 、除外 2 社 (社名) 株式会社グルメデリカ、  
NC・GDホールディングス  
株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	312,430,277株	2024年3月期	312,430,277株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,606,374株	2024年3月期	1,600,726株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	310,826,935株	2024年3月期3Q	311,175,415株

(注) 当社は、第104期より業績連動型株式報酬制度「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式 (期末自己株式数623,600株、期中平均株式数623,600株) を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断している一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善などにより経済環境に改善傾向が見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化、不安定な為替の変動などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

世界経済（連結対象期間1－9月）については、欧米においてインフレ緩和による実質賃金の増加を受け、個人消費の持ち直しが景気を下支えました。

当社およびグループ全体において、白身魚の市況が低水準で推移したことで北米の水産加工事業は苦戦した一方、食品事業としては原料価格低下となりプラス効果となりました。また、天候不順や海水温上昇もあり漁撈事業、養殖事業とも厳しい事業環境となったうえ、国内食品事業では米の予期せぬ急騰の影響を受け、厳しい結果となりました。

このような状況下で当第3四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は6,633億37百万円(前年同期比378億55百万円増)、営業利益は248億40百万円(前年同期比15億14百万円減)、経常利益は279億7百万円(前年同期比1億26百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は195億78百万円(前年同期比7億15百万円減)となりました。

(単位：百万円)				
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2025年3月期 第3四半期	663,337	24,840	27,907	19,578
2024年3月期 第3四半期	625,481	26,355	27,780	20,293
前年同期増減	37,855	△1,514	126	△715
前年同期比	106.1%	94.3%	100.5%	96.5%

セグメント別の概況は次の通りであります。

(単位：百万円)						
	売上高	前年同期増減	前年同期比	営業利益	前年同期増減	前年同期比
水産事業	270,641	14,514	105.7%	5,136	△5,387	48.8%
食品事業	356,112	23,493	107.1%	23,738	2,473	111.6%
ファイン事業	10,763	△736	93.6%	195	273	—%
物流事業	12,682	914	107.8%	2,326	945	168.4%
その他(注)	13,137	△330	97.5%	765	269	154.2%
全社経費	—	—	—%	△7,321	△89	101.2%
合計	663,337	37,855	106.1%	24,840	△1,514	94.3%

(注) 「その他」：エンジニアリング（工場・設備機器の企画・設計・施工等）事業、船舶運航事業等。

## (1) 水産事業

水産事業につきましては、漁撈事業、養殖事業、加工・商事事業を営んでおります。

＜当第3四半期連結累計期間の概況＞

水産事業では売上高は2,706億41百万円(前年同期比145億14百万円増)となり、営業利益は51億36百万円(前年同期比53億87百万円減)となりました。

漁撈事業：前年同期比で減収、減益

【日本】

- ・かつお・さばの漁獲は堅調に推移しましたが、夏場の時化などによりいわしの漁獲が振るわず、減収・減益となりました。

養殖事業：前年同期比で減収、減益

【日本】

- ・飼料価格の上昇などのコスト増に加え海水温の上昇による斃死や生育不良の影響もあり、各魚種で苦戦しまし

た。魚種毎では、まぐろは輸入品の増加による供給過多で販売価格が低迷、ぶりは上期までの出荷抑制、銀鮭は早期水揚げしたことによる魚体重減少の影響があり、減収・減益となりました。

【南米】

- ・飼料価格の上昇などのコスト増や生簀繰りの影響による生残率の低下に加え、水揚げ時期が集中したことで加工原料向け商品の販売比率が増加したことにより平均販売単価が下落しましたが、在池魚評価が好転したことで前年同期並みの利益となりました。

加工・商事事業：前年同期比で増収、減益

【日本】

- ・鮭鱒などの販売が好調に推移し増収となった一方、ぶり・飼料油飼の販売が減少したこともあり利益は前年並みとなりました。

【北米】

- ・商事事業は鮭鱒の販売が堅調に推移した一方で、加工事業において人件費を含むコスト上昇に加え、すけそうだらのすりみやフィレの販売価格が低迷したことから、大きく減益となりました。

【欧州】

- ・鮮魚ビジネスを展開する会社を連結子会社とした効果に加え、イタリアやベネルクス向けの販売が好調に推移したことから、増収・増益となりました。

(2) 食品事業

食品事業につきましては、加工事業およびチルド事業を営んでおります。

＜当第3四半期連結累計期間の概況＞

食品事業では売上高は3,561億12百万円(前年同期比234億93百万円増)となり、営業利益は237億38百万円(前年同期比24億73百万円増)となりました。

加工事業：前年同期比で増収、増益

【日本】

- ・家庭用の冷凍食品・フィッシュソーセージ、業務用冷凍食品の販売は堅調に推移し増収となりました。利益面では価格改定やすりみ原料安の効果はあったものの、米の原料価格の急騰に加え、円安による輸入価格や物流費などの上昇も重なり、減益となりました。

【北米】

- ・家庭用では白身魚フライのバリューパック製品の販売が好調に推移し、業務用の外食向け販売の苦戦をカバーしたことで全体では販売数量は増加、円安の影響もあり増収となりました。また、販売拡大に加え、白身魚・えびの原料価格が低位安定で推移したことから、家庭用・業務用ともに増益となりました。

【欧州】

- ・スペイン・イタリアへ販売エリア拡大を進めたことに加え、フランスでは販売数量が堅調に推移しました。また、販売拡大に加え、主原料である白身魚の価格が低位安定で推移したことで増益となりました。

チルド事業：前年同期比で増収、増益

- ・人流回復に加えコンビニエンスストアの販売促進効果もあり、おにぎり・サラダの販売が好調に推移しました。また、株式会社グルメリカ(注1)が2023年7月から連結子会社として加わったこともあり増収・増益となりました。

(3) ファイン事業

ファイン事業につきましては、医薬原料、機能性原料(注2)および機能性食品(注3)などの生産・販売を行っております。

＜当第3四半期連結累計期間の概況＞

ファイン事業では売上高は107億63百万円(前年同期比7億36百万円減)となり、営業利益は1億95百万円(前年同期比2億73百万円増)となりました。

- ・通信販売は苦戦しましたが、前年の医薬原料増産による原価低減効果があり減収・増益となりました。

## (4) 物流事業

物流事業につきましては、冷蔵倉庫事業、配送事業、通関事業を営んでおります。

＜当第3四半期連結累計期間の概況＞

物流事業では売上高は126億82百万円(前年同期比9億14百万円増)となり、営業利益は23億26百万円(前年同期比9億45百万円増)となりました。

・在庫回転率の改善と価格改定に加え、2024年1月の新物流センター開業効果もあり増収・増益となりました。

(注1) 2024年7月1日付で、日本クッカー株式会社を存続会社として、NC・GDホールディングス株式会社及び株式会社グルメリカの3社が合併し株式会社日本デリカサービスに商号変更しました。

(注2) サプリメントの原料や乳児用粉ミルク等に添加する素材として使用されるEPA・DHAなど。

(注3) 主に通信販売している機能性表示食品「ごま豆乳仕立てのみんなのみかたDHA」、特定保健用食品「イマークS」などの健康食品。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期 第3四半期	増減
流動資産	325,167	346,560	21,393
(うち 棚卸資産)	184,074	189,720	5,646
固定資産	281,217	289,173	7,956
資産合計	606,384	635,733	29,349
流動負債	212,816	237,320	24,504
固定負債	136,263	127,703	△8,560
負債合計	349,080	365,024	15,944
純資産合計	257,304	270,709	13,405

## 資産

資産合計は前連結会計年度末に比べて293億49百万円増の6,357億33百万円(4.8%増)となりました。

流動資産は213億93百万円増の3,465億60百万円(6.6%増)となりました。売上増加などにより受取手形及び売掛金が136億49百万円増加したこと、棚卸資産が56億46百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は79億56百万円増の2,891億73百万円(2.8%増)となりました。設備投資などにより有形固定資産が53億70百万円増加しました。

## 負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて159億44百万円増の3,650億24百万円(4.6%増)となりました。

流動負債は245億4百万円増の2,373億20百万円(11.5%増)となりました。運転資金需要増などにより短期借入金が増加したことが主な要因です。

固定負債は85億60百万円減の1,277億3百万円(6.3%減)となりました。長期借入金が増加したことが主な要因です。

## 純資産

純資産合計は前連結会計年度末に比べて134億5百万円増加し、2,707億9百万円(5.2%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益を195億78百万円計上したこと、剰余金の配当を81億1百万円行ったこと、円安の影響により為替換算調整勘定が16億91百万円増加したことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、売上高は水産事業において国内外の商事事業が堅調に推移していることに加え、円安により上振れしていること、また、営業利益は昨年5月に公表した業績予想では水産事業の市況回復などで食品事業のコストアップによる厳しい事業環境をカバーする想定でしたが、水産事業において足元では漁業・養殖に改善の兆しがみられるものの年間を通じての挽回は厳しい一方、食品事業は海外を中心に販売拡大しているうえ、原料安効果も残ることからセグメント別の予想値について以下の通り修正いたします。

なお、2025年3月期の期末配当予想につきましては、前回予想から1株当たり4円増配し16円に修正することといたしました。詳細につきましては、本日開示いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2025年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

（単位：百万円）	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想（A）	875,000	32,500	35,000	24,000	77.21円
今回発表予想（B）	880,000	32,500	35,000	24,000	77.21円
差額（B－A）	5,000	－	－	－	－
差額率（％）	0.6	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （2024年3月期）	831,375	29,663	31,963	23,850	76.67円

## 2025年3月期 セグメント別業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

（単位：百万円）	前回発表予想	今回発表予想	差額	（ご参考） 前期実績 （2024年3月期）
売上高	875,000	880,000	5,000	831,375
水産事業	351,100	357,800	6,700	336,892
食品事業	470,500	470,000	△500	443,297
ファイン事業	16,500	16,300	△200	15,696
物流事業	16,700	16,600	△100	15,213
その他	20,200	19,300	△900	20,275
営業利益	32,500	32,500	－	29,663
水産事業	14,450	9,300	△5,150	10,697
食品事業	25,500	28,900	3,400	27,291
ファイン事業	300	750	450	△171
物流事業	2,000	2,800	800	1,536
その他	950	950	－	782
全社経費	△10,700	△10,200	500	△10,473

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,664	17,944
受取手形及び売掛金	108,292	121,942
商品及び製品	98,333	101,458
仕掛品	33,012	35,296
原材料及び貯蔵品	52,727	52,966
その他	16,821	17,665
貸倒引当金	△684	△712
流動資産合計	325,167	346,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	66,186	66,776
その他（純額）	100,121	104,902
有形固定資産合計	166,308	171,678
無形固定資産		
のれん	2,560	2,217
その他	14,808	14,116
無形固定資産合計	17,369	16,334
投資その他の資産		
投資有価証券	32,213	31,391
関係会社株式	45,130	49,315
長期貸付金	6,443	6,347
退職給付に係る資産	464	427
繰延税金資産	3,240	2,795
その他	11,210	12,207
貸倒引当金	△1,163	△1,325
投資その他の資産合計	97,539	101,160
固定資産合計	281,217	289,173
資産合計	606,384	635,733



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,623	61,054
短期借入金	96,680	122,436
未払法人税等	6,394	2,677
未払費用	33,600	34,183
引当金	4,395	1,972
その他	15,121	14,996
流動負債合計	212,816	237,320
固定負債		
長期借入金	109,729	100,647
引当金	134	220
退職給付に係る負債	9,661	9,745
その他	16,737	17,089
固定負債合計	136,263	127,703
負債合計	349,080	365,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,685	30,685
資本剰余金	22,048	22,005
利益剰余金	154,715	166,192
自己株式	△703	△708
株主資本合計	206,745	218,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,141	14,225
繰延ヘッジ損益	1,006	503
為替換算調整勘定	29,961	31,652
退職給付に係る調整累計額	△2,661	△2,804
その他の包括利益累計額合計	42,447	43,577
非支配株主持分	8,110	8,956
純資産合計	257,304	270,709
負債純資産合計	606,384	635,733

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	625,481	663,337
売上原価	527,235	558,083
売上総利益	98,246	105,253
販売費及び一般管理費	71,891	80,412
営業利益	26,355	24,840
営業外収益		
受取利息	373	395
受取配当金	412	431
為替差益	255	193
持分法による投資利益	1,769	4,165
助成金収入	498	110
雑収入	537	609
営業外収益合計	3,846	5,905
営業外費用		
支払利息	2,238	2,388
雑支出	183	450
営業外費用合計	2,421	2,839
経常利益	27,780	27,907
特別利益		
固定資産売却益	86	119
投資有価証券売却益	1,968	1,874
受取保険金	1,021	—
負ののれん発生益	—	151
関係会社清算益	—	81
事業譲渡益	—	121
特別利益合計	3,076	2,348
特別損失		
固定資産処分損	558	356
投資有価証券評価損	—	132
災害による損失	—	236
事故関連損失	1,052	—
特別損失合計	1,610	724
税金等調整前四半期純利益	29,246	29,530
法人税、住民税及び事業税	8,723	7,988
法人税等調整額	△371	568
法人税等合計	8,351	8,557
四半期純利益	20,895	20,973
非支配株主に帰属する四半期純利益	601	1,395
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,293	19,578

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	20,895	20,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,577	24
繰延ヘッジ損益	163	△365
為替換算調整勘定	12,975	1,461
退職給付に係る調整額	△468	△88
持分法適用会社に対する持分相当額	1,778	232
その他の包括利益合計	16,026	1,264
四半期包括利益	36,922	22,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,299	20,707
非支配株主に係る四半期包括利益	622	1,530

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響は軽微です。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合 計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	256,127	332,618	11,500	11,767	612,014	13,467	625,481	—	625,481
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,857	630	392	8,870	22,750	1,200	23,950	△23,950	—
計	268,984	333,248	11,892	20,637	634,764	14,668	649,432	△23,950	625,481
セグメント利益又は損失(△)	10,523	21,264	△78	1,381	33,091	496	33,588	△7,232	26,355

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれていない船舶の建造・修繕、運航、エンジニアリング等が対象となります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△7,232百万円には、セグメント間取引消去3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△7,236百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

食品事業セグメントにおいて、株式会社グルメデリカを連結の範囲に含めたことにより、第2四半期連結会計期間において、のれんが発生しております。当該事象によるのれん増加額は972百万円であります。

のれんの金額は、暫定的に算定された金額でありましたが、当第3四半期連結会計期間において確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴うのれんの金額に変更はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合 計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	270,641	356,112	10,763	12,682	650,199	13,137	663,337	—	663,337
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,692	808	368	10,464	25,334	991	26,325	△26,325	—
計	284,333	356,921	11,132	23,146	675,533	14,128	689,662	△26,325	663,337
セグメント利益	5,136	23,738	195	2,326	31,396	765	32,162	△7,321	24,840

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれていない船舶の建造・修繕、運航、エンジニアリング等が対象となります。
2. セグメント利益の調整額△7,321百万円には、セグメント間取引消去97百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△7,418百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	16,211百万円	18,330百万円
のれんの償却額	398 〃	475 〃